

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業			シート番号	007-039
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画推進
				課	評価責任者(課長名)
					藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	5	男女共同参画の推進	無
	2	事業開始年度	平成 12 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	・堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例 ・堺市男女共同参画交流の広場規則			
	4	関連計画	・第4期さかい男女共同参画プラン(改定)			
5	事業実施の経緯	男女の対等なパートナーシップの確立をめざし、市民が男女共同参画に関する情報を得ることができ、また、男女共同参画に関する活動を行うグループが交流しネットワークする場として「堺市男女共同参画交流の広場」を2000年(平成12年)10月11日に男女共同参画推進課の分室として開設した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	男女共同参画社会の実現に向けて活動する個人やグループの活動支援を行い、相互交流を促進することを目的としている。また、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人が、その不安や悩みを相談し、気持ちや感情を整理することでいきいきと自分らしく生きていくきっかけをつかむための相談先を確保することを目的とする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>○男女共同参画に関する活動をする市民グループの活動やネットワークづくりのための交流の場・活動の場としてオープンスペースを提供するとともに、男女共同参画に関する情報を収集し、広く市民に提供する。また、図書・ビデオ(DVD)の館内閲覧や貸出などによる情報提供も行う。</p> <p>○相談業務(カウンセリング業務)については、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱える女性を対象とした「女性の悩みの相談」、同様に悩みを抱える男性を対象とした「男性の悩みの相談」を実施する。</p> <p>○DV被害者同士が安心して自らの悩みや体験を語り合うことで、被害者自身の気持ちや感情を整理し、DV被害からの回復を図る「DV被害者サポートグループ」事業を実施する。</p> <p>○男女共同参画交流の広場に関する情報を掲載した情報紙「ひろばだより」を年3回発行する。</p>				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 有限会社フェミニストカウンセリング堺					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	6,343	6,327	6,349	6,347	7,181	6,907	7,064	
主な事業費内訳	運營業務委託料	千円	6,257	6,256	6,257	6,256	7,089	6,758	6,820
		千円							
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							90
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
その他()	千円								
一般財源	千円	6,343	6,327	6,349	6,347	7,181	6,907	6,974	
12 人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,983	7,967	7,989	7,987	8,801	8,527	8,704	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業	シート番号	007-039
-------	-----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	<p>○グループ活動やネットワークづくりのための交流の場・活動の場の提供 男女共同参画に関する活動をする市民グループの活動やネットワークづくりのための場を提供し、これにより、利用者の男女共同参画に対する意識醸成や、本市の男女共同参画の推進に寄与することができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設の大人数での利用を避けていただいたため、前年度より利用者減となっており、令和元年度利用者数は、延べ1,997人。</p> <p>○ビデオ・図書の貸出・館内閲覧、パソコン設置等による情報提供 男女共同参画に関するビデオや図書の貸出・館内閲覧、パソコンの設置等を行うことにより、様々な角度から男女共同参画に触れてもらい、知識を習得してもらうことに寄与できた。</p> <p>○相談事業 女性の悩みの相談、男性の悩みの相談ともに多くの方に利用していただいた。相談者の様々な悩みを相談者の視点に立ってカウンセリングを行うことにより、相談者自身による問題の解決と回復の支援に寄与することができた。 令和元年度実績…女性の悩みの相談:313件、男性の悩みの相談:62件(内電話相談件数:24件)</p> <p>○DV被害者サポートグループ事業 DV被害者の自立や心身の回復を図るために、被害者同士が自らの悩みや体験を語り合う交流会を2カ月に1度実施した。参加者は本音で話すことで前向きな気持ちになったり、心が和らいだという声が多く、DV被害からの回復に寄与できた。</p> <p>○広場に関する情報紙の発行 4カ月に1度、年3回発行。広場に関する情報を掲載し、それを市関係施設や関係団体に配架・配布することで、広場の周知を行った。</p>							
	14	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		相談件数	件	目標値	462	452	459	462
				実績値	392	373	375	
				達成率	85%	83%	82%	
	算出方法・設定根拠など		不安や悩みを抱える人々の相談件数(女性の悩みの相談・男性の悩みの相談)					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年間利用者数	人	目標値	3,100	3,100	3,100	1,780
				実績値	2,206	2,078	1,997	
				達成率	71%	67%	64%	
	算出方法・設定根拠など		第4期さかい男女共同参画プラン(改定)の指標として掲載。新型コロナの影響により、令和2年度は大人数の施設利用を制限しているため目標値を見直している。					

事業の効率性

17	区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	①	相談件数	件	392	373	375
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,310	2,310	2,310
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,893	6,193	6,160
備考(算出についての説明等)		悩みの相談事業に係る経費(カウンセラー報酬)				
18	区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	①	年間利用者数	人	2,206	2,078	1,997
	②	上記①にかかる年間経費	千円	7,967	7,987	8,527
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,612	3,844	4,270
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
利用者数増加のために、市民に対する当広場の認知度を向上させる取組が必要である。SNSや委託業者のブログ等、様々な媒体を使用して、より多くの市民に情報がいきわたるよう努める。登録グループについても、登録するメリットを効果的に広報し、登録数増加につなげる。 相談業務については、キャンセル数も含めた申込件数の総数は、506件(女性425件、男性81件)で年間の相談件数(459件)を超えており、不安や悩みを抱える市民にとって欠かすことのできない悩み相談の場となっている。キャンセルが発生した場合は、次の予約者から順次相談を行っているが、心理カウンセリングのため精神的な悩みを抱えている方が多く、直前でキャンセルされる方もおり、可能な限りキャンセル枠を埋め一人でも多くの方に相談していただけるよう対応策を検討する。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱える人の相談先を確保するため、相談業務は平常通り実施し、面接相談を実施している女性相談について希望者は電話相談可とするなど柔軟に対応することができた。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業	シート番号	007-039
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルス感染拡大の影響により市民のストレスや不安が高まる中、当該事業を廃止することは、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人の相談先を奪うことにつながる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルス感染拡大の影響により市民のストレスや不安が高まる中、当該事業を休止することは、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人の相談先を奪うことにつながる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 当該事業で実施している相談業務は、相談者が自ら問題を解決できるよう気持ちや感情の整理を助けることを目的としたカウンセリングであり、男女ともに相談可能となっている。新型コロナウイルス感染拡大の影響によるDV被害の増加等が社会問題となる等、市民のストレスや不安が高まっている状況下においても、相談業務は高い利用率を維持している。男女共同参画を進めるうえで重要な施設であり、コロナ禍において、よりニーズが高まっている当該事業の規模を廃止・休止・縮小(相談枠の縮小等)することにより、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人の相談機会を奪うことにつながるため、廃止、休止、縮減することはできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 相談業務はカウンセラーと相談者の1対1で行い、会議室の利用者数を制限する等、ソーシャルディスタンスの確保等感染防止策を講じている。また女性相談は面接相談を基本としているが、希望者は男性相談と同様、電話相談での対応を実施しているため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名(子ども青少年局、区役所) 関連事業名(配偶者暴力相談支援センター、女性相談) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ①市内で男女共同参画に関する活動をしている団体(広場登録グループ)に、男女共同参画に関する情報の提供や、団体の活動拠点の利用等、活動支援を行っている。 ②当該事業で実施している相談業務は、カウンセラーによる傾聴や助言により相談者の気持ちや感情の整理を助ける心理カウンセリングであり、ICT活用(メールやチャットによる相談等)で、目的を達成することが困難であるが、利用者の増加に向けて、市や委託業者のホームページ、公式SNSの活用による情報発信の手法を検討していく。 ③より緊急性の高い相談等(DVからの避難等)については、他部局所管の相談機関へ案内している。 ④国、大阪府と連携し、相談事業を実施している。 ⑤他都市においても、同様の事業を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 相談業務については、女性・男性の悩みの相談ともに高い利用率となっている。悩みを抱える市民の相談の場であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるDV被害の増加等が社会問題となっている背景から、今後も継続して実施する必要がある。コロナ禍においても市民が安心して相談できるよう、希望者は電話相談可とする等の対応を今後も継続して実施する。 また交流や活動の場として様々なグループや個人が利用していることから、本施設は男女共同参画の活動拠点としての役割を果たしていると考えられる。広場登録グループと利用者数の増加に向けて、市や委託業者のホームページ・公式SNSの活用等、本施設と取組に関する効果的な情報発信の手法を検討する。